

市内唯一、ペット供養40周年

熱海市内で唯一、ペット(信任職)が今年、ペットの葬儀と火葬を手付けの身延山湯河原別院・椿寺(脇田恵)の時に、動物も人間も

泉の椿寺

3代目のペット専用霊きゅう車と脇田住職=泉



火葬炉、納骨堂、専用霊きゅう車完備

感じる寂しさは同じ。葬儀の際には必ず、家族の思い出話をされたい」としみじみと語った。

1979(昭和54)年、敷地内に火葬炉と納骨堂、専用霊きゅう車を備え、ペットの葬儀受け入れをスタート

円、大型ペットは5万円、何十年も価格を愛

葬儀の進め方は戒名がない他は人間と同じ。葬儀料は2〜3万円、大型ペットは5万円、何十年も価格を愛

葬儀、戒名以外は人と同じ

した。開始当時は全国でも珍しい取り組みで、関東や東海地方、九州から足を運ぶ人もいたという。脇田住職は「死んだペットを生きかたたりする飼主も

は「死んだペットを生かす」として出す人の話を聞き、供養したいと感じた気持ちがある」と感じ、責任を持って飼ってほしい」と力を込めて話

同寺は市民や湯河原

した。

町民から「ペット寺」として親しまれている。年間約50頭の葬儀のほか、春と秋、盆の年3回合同供養祭を開

いている。